

別の分布をみると、総数、男性、女性ともに20歳代が最も多かった(それぞれ6,048人、3,789人、2,287人)。総数、男性及び女性の年齢階級別利用者数の最頻値をみると、総数及びすべての年齢階級で0人であった(表3-1)。

4) 入所及び通所施設利用者の平均年齢

入所施設利用者の平均年齢は全体で、41.5±10.3歳(範囲:11-70歳)、男性で40.7±0.2歳(範囲:10-70歳)、女性で42.4±11.1歳(範囲:10-77歳)であった。通所施設利用者の平均年齢は全体で、32.6±8.9歳(範囲:2-68歳)、男性で31.7±9.3歳(範囲:2-67歳)、女性で33.4±10.4歳(範囲:3-70歳)であった(表3-2)。

5) 栄養部門以外の人員構成

常勤者数の最頻値をみると、最も人数が多かったのは、事務職員の2人であった。続いて、施設長及び看護師が1人で、それ以外の職種はすべて0人であった。非常勤者数の最頻値をみると、すべての職種で0人であった(表4)。

6) 栄養部門の人員構成

・施設直営

常勤者数の最頻値をみると、「管理栄養士あるいは栄養士」及び「栄養士」が1人で、それ以外の職種はすべて0人であった。非常勤者数の最頻値をみると、すべての職種で0人であった(表5)。

・委託

常勤者数及び非常勤者数の最頻値をみると、すべての職種で0人であった(表5)。

7) 管理栄養士及び栄養士の配置状況

・施設直営

常勤では、管理栄養士のみ配置している施設は330件(26.6%)、栄養士のみを配置している施設は793件(64.0%)、管理栄

養士及び栄養士を配置している施設は39件(3.1%)であった(表6-1)。非常勤では、管理栄養士のみ配置している施設は19件(1.5%)、栄養士のみを配置している施設は43件(3.5%)、管理栄養士及び栄養士を配置している施設は1件(0.08%)であった(表6-2)。

・委託

常勤では、管理栄養士のみ配置している施設は19件(1.5%)、栄養士のみを配置している施設は173件(14.0%)、管理栄養士及び栄養士を配置している施設は10件(0.8%)であった(表7-1)。非常勤では、管理栄養士のみ配置している施設は11件(0.9%)、栄養士のみを配置している施設は25件(2.0%)、管理栄養士及び栄養士を配置している施設は3件(0.2%)であった(表7-2)。

3. 定期健康診断(平成18年度の取り組みについて)

利用者の定期健康診断については、「行っている(年に2回以上)」と回答した施設が最も多く、902件(72.8%)であった。続いて「行っている(年に1回)」と回答した施設が、217件(17.5%)であった。「年に2回以上」と「年に1回」を合わせると、1,119件(90.3%)の施設で健康診断が行われていた(表8-1)。定期健康診断の時期については、「秋(9-11月)」と回答した施設が最も多く、785件(70.2%)であった。続いて「春(3-5月)」と回答した施設が、689件(61.6%)であった(表8-2)。定期健康診断の結果の利用については、「利用者の健康・栄養状態の把握に利用している」と回答した施設が最も多く、1,039件(92.9%)であった(表8-3)。

4. 身体計測(平成18年度の取り組みについて)

・身長計測

身長計測を行っている施設は、1,146件(92.5%)であった(表9-1)。測定回数については、「年に1回」と回答した施設が最も多く、676件(59.0%)であった(表9-2)。身長計測の方法については、「一般の身長計(立位式)」と回答した施設が最も多く、1,129件(99.1%)であった。メジャーを使って計測している施設は、65件(5.7%)のみであった(表9-3)。測定時期については、「4月」と回答した施設が最も多く、412件(60.9%)であった(表9-4)。

・体重計測

体重計測を行っている施設は1,224件(98.8%)であった(表10-1)。測定回数については、「年に12回」と回答した施設が最も多く、980件(80.1%)であった(表10-2)。体重計測の方法については、「一般の体重計(立位式)」と回答した施設が最も多く、1,195件(97.7%)であった。続いて「職員が抱きかかえて一緒に体重計に乗り、後で職員の体重を差し引く」と回答した施設が158件(12.9%)、「車椅子式体重計(車椅子に座ったまま計測)」と回答した施設が153件(12.5%)であった(表10-3)。利用者の体重の推移(増加や減少)を把握しているかについては、「はい」と回答した施設が1,113件(90.9%)であった(表10-4)。

・標準体重の指標

標準体重の指標については、「BMI法:身長(m)²×22」と回答した施設が最も多く、1,087件(87.7%)であった。続いて「特に使っていない」が、49件(4.0%)であった(表11)。

・BMIの算出

BMIの算出については、「算出している」と回答した施設が1,095件(88.4%)であった。測定回数については、「年に1~2回」と回答した施設が最も多く、676件(54.6%)であった。続いて「年に12回(毎月1回)」が、287件(23.2%)であった(表12)。

・体脂肪率の算出

体脂肪率の算出については、「特に算出していない」と回答した施設が最も多く、957件(77.2%)であった。続いて「算出している(インピーダンス計)」が、113件(9.1%)であった(表13)。

・上腕三頭筋部皮下脂肪厚計測

上腕三頭筋部皮下脂肪厚計測については、「計測していない」と回答した施設が多く、1,196件(96.5%)であった。「算出している」と回答した施設は19件(1.5%)のみであった(表14-1)。測定回数については、「年に1回」と回答した施設が最も多く、11件(57.9%)であった。続いて「年に2回」、「年に6回」及び「年に12回」が、それぞれ2件(10.5%)であった(表14-2)。測定時期については、「4月」と回答した施設が最も多く、4件(36.4%)であった。続いて「5月」が、3件(27.3%)であった(表14-3)。

・上腕囲計測

上腕囲計測については、「計測していない」と回答した施設が多く、1,160件(93.6%)であった。「算出している」と回答した施設は18件(1.5%)のみであった(表15-1)。測定回数については、「年に1回」と回答した施設が最も多く、7件(38.9%)、続いて、「年に2回」が5件(27.8%)であった(表14-2)。測定時期については、「5月」と回答した施設が最も多く、3件(42.9%)であった。続いて「4

月」が、2 件(28.6%)であった(表 15-3)。

・上腕筋肉面積の算出

上腕筋肉面積については、「算出していない」と回答した施設が多く、1,170 件(94.4%)であった。「算出している」と回答した施設は 9 件(0.7%)のみであった(表 16-1)。算出回数については、「年に 1 回」と回答した施設が最も多く、4 件(44.4%)であった。続いて「年に 2 回」が、2 件(22.2%)であった(表 16-2)。算出時期については、「4 月」及び「5 月」と回答した施設が、それぞれ 2 件(50.0%)であった(表 16-3)。

・血圧計測

血圧計測については、「計測している」と回答した施設が多く、1,102 件(88.9%)であった(表 17-1)。計測回数については、「年に 12 回」と回答した施設が最も多く、445 件(40.4%)であった。続いて「年に 2 回」が、306 件(27.8%)であった(表 17-2)。算出時期については、「4 月」と回答した施設が最も多く、20 件(20.0%)であった。続いて「5 月」及び「6 月」と回答した施設が、それぞれ 16 件(16.0%)であった(表 17-3)。

・腹囲(ウエスト囲)計測

腹囲(ウエスト囲)計測については、「計測していない」と回答した施設が多く、1,104 件(89.1%)であった(表 18-1)。計測回数については、「年に 1 回」と回答した施設が最も多く、53 件(51.0%)であった。続いて「年に 2 回」が、20 件(19.2%)であった(表 18-2)。計測時期については、「4 月」と回答した施設が最も多く、21 件(39.6%)であった。続いて「5 月」が、11 件(20.8%)であった(表 18-3)。

・日常生活動作(ADL)遂行能力分類

日常生活動作(ADL)遂行能力分類については、「今のところ行っていない」と回答した施設が最も多く、942 件(76.0%)であった(表 19)。

5. 血液生化学検査(平成18年度の取り組みについて)

血液生化学検査の実施については、「血液生化学検査を行っている」と回答した施設が、1,094 件(88.3%)あった(表 20-1)。検査時期については、「春(3~5 月)」に行っている」と回答した施設が最も多く、486 件(39.2%)であった。続いて「夏(6~8 月)」が、286 件(23.1%)であった(表 20-1)。また、検査をいつ行っているかについては、「朝食前空腹時」と回答した施設が最も多く、443 件(35.8%)、続いて「朝食後昼食前」が、375 件(30.3%)であった。検査項目については、実施している施設数の多いものから、総コレステロール 1,067 件(97.5%)、中性脂肪 1,061 件(97.5%)、GOT(AST)またはGPT(ALT) 1,048 件(95.8%)、血色素(ヘモグロビン) 1,038 件(94.9%)、血糖 984 件(89.9%)、HDL-コレステロール 978 件(89.4%)、白血球数 971 件(88.8%)であった(表 21)。

6. 栄養管理(平成18年度の取り組みについて)

・個人のエネルギー必要量の算出

個人のエネルギー必要量の算出については、「全員に最低1回算出している」と回答した施設が最も多く、787 件(63.5%)であった。一方、「特に算出していない」と回答した施設は、269 件(21.7%)であった(表 22-1)。算出方法は、「日本人の食事摂取基準(2005年版)を利用」している施設が最も多く、814 件(87.3%)であった。続いて「ハリス・ベネディクトの式を利用している」が、46 件(4.9%)であった(表 22-2)。

・個人のたんぱく質必要量の算出

個人のたんぱく質必要量の算出については、「全員に最低1回算出している」と回答した施設が最も多く、634件(51.2%)であった。一方、「特に算出していない」と回答した施設は、486件(39.2%)であった(表23-1)。算出方法については、「日本人の食事摂取基準(2005年版)を利用:1日のたんぱく質の推奨量(RDA)」と回答した施設が、418件(59.3%)であった。「日本人の食事摂取基準(2005年版)を利用:1日のたんぱく質の推奨量(RDA)～目標量(DG)%エネルギー20%の範囲」と回答した施設が、255件(36.2%)であった。両者を合わせると、「食事摂取基準(2005年版)を利用している施設」は、673件(95.5%)であった(表23-2)。

・喫食状況の確認

提供した食事の喫食状況の確認については、「全員に実施」と回答した施設が最も多く、470件(37.9%)であった。続いて「必要な利用者のみを実施」と回答した施設が、418件(33.7%)であった(表24-1)。確認の内容及び頻度については、「朝・昼・夕について毎日確認」と回答した施設が最も多く、329件(26.6%)であった。続いて「朝・昼・夕・間食について毎日確認」と回答した施設が、191件(15.4%)であった(表24-2)。

・利用者の投薬状況

利用者の投薬状況の確認については、「全員について実施」と回答した施設が最も多く、677件(54.6%)であった。続いて「必要な利用者のみを実施」と回答した施設が、296件(23.9%)であった(表25)。

・摂食・嚥下障害の評価

摂食・嚥下障害の評価については、「この

1ヶ月は、個別に摂食・嚥下障害の評価を行っていない」と回答した施設が最も多く、571件(46.1%)であった。続いて「問題が報告された時に行った」と回答した施設が、412件(33.3%)であった(表26-1)。摂食・嚥下障害をもつ利用者への対策については、「対策を行った」と回答した施設が506件(40.8%)、「積極的に対策を行った」と回答した施設が169件(13.6%)であった。両者を合わせると、「対策を行った」施設は、675件(54.4%)であった。一方、「特に行わなかった」と回答した施設は328件(26.5%)であった(表26-2)。対策の内容については、「食事形態の工夫(数段階の摂食・嚥下食を提供)」と回答した施設が最も多く、619件(91.7%)であった。続いて「食べる姿勢の工夫」と回答した施設が、203件(30.1%)であった(表26-3)。

・利用者の食行動

利用者の食行動で気になっている項目については、「早食い(噛まずに飲み込んでしまう)」と回答した施設が最も多く、1,081件(88.2%)であった。続いて「偏食(特定の食物を極端に嫌ったり、ある食物しか食べない)」と回答した施設が、887件(72.3%)であった(表27-1)。食行動の異常をもつ利用者への対策については、「対策を行った」と回答した施設が630件(53.1%)、「積極的に対策を行った」と回答した施設が124件(10.4%)であった。両者を合わせると、「対策を行った」施設は754件(63.5%)であった。一方、「特に行わなかった」と回答した施設は、318件(26.8%)であった(表27-2)。

・利用者や利用者のご家族に対する健康・栄養指導

利用者や利用者のご家族に対する健康・

栄養指導については、「行っている」と回答した施設が 187 件(15.0%)であった。指導の回数については、「年に 3~4 回」と回答した施設が最も多く、88 施設(47.1%)であった。続いて「年に 12 回(毎月 1 回)」及び「年に 5~11 回」が、それぞれ 40 施設(21.4%)であった。一方、「特に行っていない」と回答した施設は、827 件(66.7%)であった(表 28)。

・飲料水(コーヒー、ジュース、炭酸飲料)を購入できる販売機の設置

施設内あるいは施設近くに、利用者が砂糖入りの飲料水(コーヒー、ジュース、炭酸飲料)を購入できる販売機が設置されているかについては、「設置されており、利用者が自由に購入している」と回答した施設が最も多く、522 件(42.1%)であった。続いて「設置されていない」が、308 件(24.9%)であった(表 29)。

・特別食の提供

特別食の提供については、「糖尿病食」と回答した施設が最も多く、758 件(61.2%)であった。続いて「摂食・嚥下食」と回答した施設が 590 件(47.6%)、「高脂肪血症食」と回答した施設が 438 件(35.4%)であった。特別食を提供している利用者人数の総数をみると、「摂食・嚥下食」を提供している利用者数が最も多く、3,241 人(3.8%)であった。続いて「糖尿病食」を提供している利用者数が 2,357 人(2.7%)、「高脂肪血症食」を提供している利用者数が 1,907 人(2.2%)であった(表 30)。

・把握している疾患

把握している疾患については、「高血圧」と回答した施設が最も多く、824 件(66.4%)であった。続いて「貧血」と回答した施設が 698 件(56.2%)、「摂食・嚥下障害」と回答した施設が 611 件(49.2%)であった。疾患をもっている利用者人数の総数をみると、「高血圧」の利用者

が最も多く、3,686 人(4.3%)であった。続いて「摂食・嚥下障害」の利用者が 2,668 人(3.1%)、「貧血」の利用者が 2,365 人(2.7%)であった(表 31)。

・利用者の肥満とやせ

利用者の肥満(BMI が 25 以上)とやせ(BMI が 18.5 未満)の把握については、「把握している」と回答した施設が 1,007 件(81.3%)であった。一方、「特に把握していない」と回答した施設が 152 件(12.3%)であった(表 32-1)。各施設における肥満(BMI が 25 以上)とやせ(BMI が 18.5 未満)の者の割合の平均値をみると、肥満者の割合の平均値は全体で 20.0%、やせ者の割合の平均値は全体で 12.1%であり、やせの割合に比較して肥満者の割合の方が高かった。肥満者の割合を男女別にみると、男性で 16.7%、女性で 25.1%と、男性に比べて女性の肥満者の割合が高かった。やせ者の割合を男女別にみると、男性で 13.3%、女性で 10.1%と、女性に比べて男性のやせ者の割合が高かった(表 32-2)。

この 1 ヶ月間における肥満の利用者への対策については、「対策を行った」と回答した施設が 594 件(59.0%)、「積極的に対策を行った」と回答した施設が 132 件(13.1%)であった。両者を合わせると、「対策を行った」施設は 726 件(72.1%)であった。一方、「特に行わなかった」と回答した施設は、223 件(22.1%)であった(表 32-3)。やせの利用者に対する対策については、「対策を行った」と回答した施設が 425 件(42.2%)、「積極的に対策を行った」と回答した施設が 79 件(7.8%)であった。両者を合わせると、「対策を行った」施設は 504 件(50.0%)であった。一方、「特に行わなかった」と回答した施設は、433 件(43.0%)であった(表 32-4)。

肥満の利用者に対する具体的な対策につい

では、「間食を減らした」と回答した施設が最も多く、466件(46.3%)であった。続いて「運動量を増やした」と回答した施設が、461件(45.8%)であった(表 32-5)。やせの利用者に対する具体的な対策については、「供給エネルギー量を増やした」と回答した施設が最も多く、390件(77.4%)であった。続いて「喫食量を確認した」と回答した施設が、135件(26.8%)であった(表 32-6)。

・死亡者

この1年間に死亡した利用者については、「いる」と回答した施設が241件(19.5%)、「いない」と回答した施設が826件(66.7%)であった(表 33-1)。この1年間における利用者の性・年齢別死亡率をみると、性別の死亡率は、男性で211名(60.8%)、女性で136名(39.2%)で、女性に比べて男性の死亡率の方が高かった。年齢階級別にみると、死亡率の第1位は、総数、男性及び女性のいずれにおいても50～59歳であった(総数:100人、28.8%、男性:56人、16.1%、女性:44人、12.7%)。第2位は、総数、男性及び女性のいずれにおいても60～69歳であった(総数:72人、20.7%、男性:42人、12.1%、女性:30人、8.6%)。第3位は、総数及び女性で70～79歳(総数:51人、14.7%、女性:25人、7.2%)、男性で40～49歳(34人、9.8%)であった(表 33-2)。

・栄養ケア・マネジメント

栄養ケア・マネジメントについては、「知っているが、まだ行っていない」と回答した施設が最も多く、846件(68.3%)であった。一方、「知っていて、行っている」と回答した施設は、161件(13.0%)であった(表 34-1)。栄養ケア・マネジメントの導入時期については、「平成18年4月」と回答した施設が最も多く、46件(32.4%)であった。続いて「平成17年4月」と回答した施設

が、13件(8.1%)であった(表 34-2)。

実施している栄養ケア・マネジメントの項目については、「栄養スクリーニング」と回答した施設が最も多く、147件(91.3%)であった。続いて「栄養アセスメント」と回答した施設が133件(82.6%)、「栄養ケア計画の作成」と回答した施設が80件(49.7%)であった(表 34-3)。栄養スクリーニングの指標としている項目については、「BMI」と回答した施設が最も多く、157件(97.5%)であった。続いて「体重減少」と回答した施設が141件(87.6%)、「食事摂取量」と回答した施設が119件(73.9%)であった(表 34-4)。

・栄養ケア・マネジメント推進上の課題

管理栄養士が栄養ケア・マネジメントの推進上の課題と感じていることについては、「食事の個別化」が最も多く、412件(40.9%)であった。続いて「人員の配置や不足」が322件(32.0%)、「時間外業務の増大」が241件(23.9%)、「医師・管理栄養士以外の職種の姿勢や理解」が240件(23.8%)であった(表 34-5)。

・アンケートへの関心

このアンケートへの関心については、「もてた」と回答した施設が519件(41.9%)、「非常にもてた」と回答した施設が96施設(7.7%)であった。両者を合わせると、「関心がもてた」施設は、615件(49.6%)であった(表 35)。

・今後の疫学研究への関心

今後、利用者の方々の疾病や投薬状況等に関する疫学研究への関心は、「関心がある」と回答した施設が420件(33.9%)、「かなり関心があり、協力もしたい」と回答した施設が52件(4.2%)であった。両者を合わせると、「関心がある施設」は、472件(38.1%)であった(表 36)。

表1 施設の種類(複数回答) n = 1,173

	施設数	(%)
知的障害児施設	108	9.2
知的障害児通園施設	26	2.2
知的障害者更生施設	775	66.1
知的障害者通所更生施設	101	8.6
知的障害者授産施設	130	11.1
知的障害者通所授産施設	132	11.3

表2 回答者の職種

	施設数	(%)
管理栄養士	357	28.8
栄養士	775	62.6
その他	18	1.5
無回答	89	7.2
合計	1,239	100.0

表3-1 入所及び通所施設の性・年齢階級別利用者数

	年齢階級	総数			男			女		
		利用者数 (人)	最頻値	(範囲)	利用者数 (人)	最頻値	(範囲)	利用者数 (人)	最頻値	(範囲)
入所施設利用者	総数	66,994	50	(0-808)	39,497	0	(0-434)	27,318	0	(0-374)
	19歳以下	4,588	0	(0-116)	3,135	0	(0-71)	1,509	0	(0-45)
	20～29歳	9,120	0	(0-61)	5,986	0	(0-36)	3,127	0	(0-39)
	30～39歳	16,553	0	(0-113)	10,937	0	(0-63)	5,565	0	(0-50)
	40～49歳	13,279	0	(0-188)	7,583	0	(0-111)	5,662	0	(0-77)
	50～59歳	13,737	0	(0-283)	7,147	0	(0-155)	6,564	0	(0-138)
	60～69歳	6,851	0	(0-124)	3,353	0	(0-66)	3,489	0	(0-58)
	70歳以上	2,531	0	(0-90)	1,244	0	(0-54)	1,281	0	(0-36)
通所施設利用者	総数	19,038	0	(0-700)	11,216	0	(0-123)	7,095	0	(0-65)
	19歳以下	2,540	0	(0-188)	1,757	0	(0-123)	784	0	(0-65)
	20～29歳	6,048	0	(0-62)	3,789	0	(0-35)	2,287	0	(0-29)
	30～39歳	5,566	0	(0-53)	3,418	0	(0-32)	2,144	0	(0-23)
	40～49歳	2,101	0	(0-30)	1,159	0	(0-20)	938	0	(0-15)
	50～59歳	1,098	0	(0-21)	569	0	(0-10)	528	0	(0-13)
	60～69歳	370	0	(0-9)	195	0	(0-5)	177	0	(0-7)
	70歳以上	72	0	(0-5)	39	0	(0-4)	33	0	(0-2)

表3-2 入所及び通所施設利用者の平均年齢

	全体		男		女	
	平均値±標準偏差	(範囲)	平均値±標準偏差	(範囲)	平均値±標準偏差	(範囲)
入所施設利用者	41.5±10.3	(11-70)	40.7±0.2	(10-70)	42.4±11.1	(10-77)
通所施設利用者	32.6±8.9	(2-68)	31.7±9.3	(2-67)	33.4±10.4	(3-70)

表4 栄養部門以外の人員構成

	常勤 ^{*1} 者数 (人)		非常勤 ^{*2} 者数 (人)	
	最頻値	範囲	最頻値	範囲
施設長	1	(0-4)	0	(0-1)
医師	0	(0-5)	0	(0-12)
歯科医師	0	(0-2)	0	(0-8)
生活支援員	0	(0-241)	0	(0-39)
生活相談員	0	(0-54)	0	(0-14)
職業支援員	0	(0-26)	0	(0-17)
作業支援員	0	(0-37)	0	(0-21)
児童指導員	0	(0-49)	0	(0-8)
介助員・介護員	0	(0-45)	0	(0-25)
介護支援専門員	0	(0-15)	0	(0-10)
歯科衛生士	0	(0-3)	0	(0-6)
理学療法士	0	(0-11)	0	(0-2)
作業療法士	0	(0-10)	0	(0-5)
言語聴覚士	0	(0-10)	0	(0-9)
看護師	1	(0-59)	0	(0-3)
保育士	0	(0-60)	0	(0-11)
事務職員	2	(0-45)	0	(0-11)
その他	0	(0-32)	0	(0-31)

常勤^{*1}:施設で定める所定労働時間を通じて勤務する労働形態(1日8時間、週に40時間の勤務時間が目安)。

非常勤^{*2}:施設で定める常勤^{*1}の所定労働時間のうち一部を勤務する労働形態。

表5 栄養部門の人員構成

	常勤 ^{*1} 者数 (人)		非常勤 ^{*2} 者数 (人)	
	最頻値	範囲	最頻値	範囲
施設直営	管理栄養士或いは栄養士	1 (0-10)	0 (0-2)	
	(管理栄養士)	0 (0-5)	0 (0-1)	
	(栄養士)	1 (0-5)	0 (0-1)	
	調理師	0 (0-20)	0 (0-6)	
	調理補助	0 (0-21)	0 (0-15)	
	その他	0 (0-6)	0 (0-9)	

常勤^{*1}:施設で定める所定労働時間を通じて勤務する労働形態(1日8時間、週に40時間の勤務時間が目安)。

非常勤^{*2}:施設で定める常勤^{*1}の所定労働時間のうち一部を勤務する労働形態。

	常勤 ^{*1} 者数 (人)		非常勤 ^{*2} 者数 (人)	
	最頻値	範囲	最頻値	範囲
委託	管理栄養士或いは栄養士	0 (0-4)	0 (0-2)	
	(管理栄養士)	0 (0-2)	0 (0-1)	
	(栄養士)	0 (0-4)	0 (0-1)	
	調理師	0 (0-11)	0 (0-16)	
	調理補助	0 (0-16)	0 (0-32)	
	その他	0 (0-6)	0 (0-28)	

常勤^{*1}:施設で定める所定労働時間を通じて勤務する労働形態(1日8時間、週に40時間の勤務時間が目安)。

非常勤^{*2}:施設で定める常勤^{*1}の所定労働時間のうち一部を勤務する労働形態。

表6-1 管理栄養士及び栄養士の配置状況(施設直営・常勤)

			管理栄養士配置人数(人)					合計
			0	1	2	3	5	
栄養士配置人数(人)	0	度数	73	316	13	1	0	403
		総和の%	5.9	25.6	1.1	0.1	0.0	32.6
	1	度数	767	30	1	0	0	798
		総和の%	62.1	2.4	0.1	0.0	0.0	64.6
	2	度数	24	5	0	0	0	29
		総和の%	1.9	0.4	0.0	0.0	0.0	2.3
	3	度数	2	1	0	0	0	3
		総和の%	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2
	5	度数	0	0	0	0	2	2
		総和の%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
合計		度数	866	352	14	1	2	1,235
		総和の%	70.1	28.5	1.1	0.1	0.2	100.0

表6-2 管理栄養士及び栄養士の配置状況(施設直営・非常勤)

			管理栄養士配置人数(人)		合計
			0	1	
栄養士配置人数(人)	0	度数	1,172	19	1,191
		総和の%	94.9	1.5	96.4
	1	度数	43	1	44
		総和の%	3.5	0.1	3.6
合計		度数	1,215	20	1,235
		総和の%	98.4	1.6	100.0

表7-1 管理栄養士及び栄養士の配置状況(委託・常勤)

			管理栄養士配置人数(人)			合計
			0	1	2	
栄養士配置人数(人)	0	度数	1,034	17	2	1,053
		総和の%	83.7	1.4	0.2	85.2
	1	度数	140	7	0	147
		総和の%	11.3	0.6	0.0	11.9
	2	度数	27	2	0	29
		総和の%	2.2	0.2	0.0	2.3
	3	度数	4	1	0	5
		総和の%	0.3	0.1	0.0	0.4
	4	度数	2	0	0	2
		総和の%	0.2	0.0	0.0	0.2
合計		度数	1,207	27	2	1,236
		総和の%	97.7	2.2	0.2	100.0

表7-2 管理栄養士及び栄養士の配置状況(委託・非常勤)

			管理栄養士配置人数(人)		合計
			0	1	
栄養士配置人数(人)	0	度数	1,197	11	1,208
		総和の%	96.8	0.9	97.7
	1	度数	25	3	28
		総和の%	2.0	0.2	2.3
合計		度数	1,222	14	1,236
		総和の%	98.9	1.1	100.0

表8-1 利用者の定期健康診断を行っていますか？

	施設数	(%)
行っている(年に2回以上)	902	72.8
行っている(年に1回)	217	17.5
利用者が各自病院等で行い、結果について施設でも把握している	10	0.8
利用者が各自病院等で行っているが、結果は施設で把握していない	1	0.1
今のところ行っていない	1	0.1
その他	4	0.3
無回答	104	8.4
合 計	1,239	100.0

表8-2 定期健診の時期はいつですか？(複数回答) n = 1,119

	施設数	(%)
春:3-5月	689	61.6
夏:6-8月	315	28.2
秋:9-11月	785	70.2
冬:12-2月	238	21.3
その他	38	3.4

表8-3 定期健診の結果をどのように活用していますか？(複数回答) n = 1,119

	施設数	(%)
利用者の健康・栄養状態の把握に活用している	1,039	92.9
利用者や利用者のご家族に対する栄養指導の際に活用している	359	32.1
今のところ活用していない	27	2.4
その他	16	1.4

表9-1 身長を測定していますか？

	施設数	(%)
はい	1,146	92.5
いいえ	83	6.7
無回答	10	0.8
合計	1,239	100.0

表9-2 身長は年に何回測定しますか？(表9-1で「はい」と回答した施設のみ)

	施設数	(%)
1回	676	59.0
2回	253	22.1
3回	32	2.8
4回	12	1.0
6回	6	0.5
11回	1	0.1
12回	106	9.2
13回以上	2	0.2
無回答	58	5.1
合計	1,146	100.0

表9-3 身長測定にはどのような方法を使っていますか？(表9-1で「はい」と回答した施設のみ)(複数回答) n = 1,139

	施設数	(%)
一般の身長計(立位式)	1,129	99.1
メジャーを使った1分法	34	3.0
メジャーを使った2分法	10	0.9
メジャーを使った3分法	13	1.1
メジャーを使った4分法	3	0.3
メジャーを使った5分法	5	0.4
膝高計測から推定	2	0.2
その他	14	1.2

表9-4 身長の測定時期は何月ですか？(表9-2で「1回」と回答した施設のみ)

	施設数	(%)
1月	9	1.3
2月	10	1.5
3月	15	2.2
4月	412	60.9
5月	82	12.1
6月	53	7.8
7月	25	3.7
8月	7	1.0
9月	13	1.9
10月	26	3.8
11月	14	2.1
12月	2	0.3
無回答	8	1.2
合計	676	100.0

表10-1 体重を測定していますか？

	施設数	(%)
はい	1,224	98.8
いいえ	1	0.1
無回答	14	1.1
合計	1,239	100.0

表10-2 体重は年に何回測定していますか？(表10-1
で「はい」と回答した施設のみ)

	施設数	(%)
1回	26	2.1
2回	37	3.0
3回	7	0.6
4回	14	1.1
5回	2	0.2
6回	24	2.0
7回	2	0.2
9回	1	0.1
10回	6	0.5
11回	3	0.2
12回	980	80.1
13回	10	0.8
14回	23	1.9
15回	4	0.3
16回	2	0.2
18回	1	0.1
24回	2	0.2
26回	1	0.1
48回	3	0.2
52回以上	3	0.2
無回答	73	6.0
合計	1,224	100.0

表10-3 体重測定にはどのような方法を使っていますか？(表10-1で「はい」と回答した者のみ)(複数回答) n = 1,223

	施設数	(%)
一般の体重計(立位式)	1,195	97.7
車椅子式体重計(車椅子に座ったまま計測)	153	12.5
職員が利用者を抱きかかえて一緒に体重計に乗り、後で職員の体重を差し引く	158	12.9
その他	32	2.6

表10-4 利用者の体重の推移(増加や減少)を把握していますか？(表10-1で「はい」と回答した者のみ)

	施設数	(%)
はい	1,113	90.9
特に把握していない	31	2.5
その他	15	1.2
無回答	65	5.3
合計	1,224	100.0

表11 標準体重の指標にはどのような項目を使っていますか？

	施設数	(%)
BMI法: 身長(m) ² × 22	1,087	87.7
通常あるいは平常時体重(6~12ヶ月安定している体重)	29	2.3
ローレル指数: 体重(kg)/身長(m) ³ × 10	17	1.4
ブローカ式桂変法: {身長(cm)-100} × 0.9	19	1.5
特に使っていない	49	4.0
その他	19	1.5
無回答	19	1.5
合計	1,239	100.0

表12 BMIを算出していますか？

	施設数	(%)
はい、年に13回以上	25	2.0
はい、年に12回(毎月1回)	287	23.2
はい、年に5～11回	25	2.0
はい、年に3～4回	82	6.6
はい、1～2回	676	54.6
知っているがしたことはない	64	5.2
知らないのではない	13	1.0
その他	37	3.0
無回答	30	2.4
合 計	1,239	100.0

表13 体脂肪率を算出していますか？

	施設数	(%)
算出している(皮下脂肪厚計測から算出)	73	5.9
算出している(インピーダンス計)	113	9.1
特に算出していない	957	77.2
その他	61	4.9
無回答	35	2.8
合 計	1,239	100.0

表14-1 上腕三頭筋部皮下脂肪厚を測定していますか？

	施設数	(%)
はい	19	1.5
いいえ	1,196	96.5
無回答	24	1.9
合 計	1,239	100.0

表14-2 上腕三頭筋部皮下脂肪厚の測定回数(年)(表14-1で「はい」と回答した施設のみ)

	施設数	(%)
1回	11	57.9
2回	2	10.5
3回	1	5.3
6回	2	10.5
12回	2	10.5
無回答	1	5.3
合 計	19	100.0

表14-3 上腕三頭筋部皮下脂肪厚の測定時期は何月ですか？
(表14-2で「1回」と回答した施設のみ)

	施設数	(%)
2月	1	9.1
4月	4	36.4
5月	3	27.3
7月	1	9.1
11月	2	18.2
無回答	0	0.0
合 計	11	100.0

表15-1 上腕囲を測定していますか？

	施設数	(%)
はい	18	1.5
いいえ	1,160	93.6
無回答	61	4.9
合計	1,239	100.0

表15-2 上腕囲の測定回数(年)(表15-1で「はい」と回答した施設のみ)

	施設数	(%)
1回	7	38.9
2回	5	27.8
3回	1	5.6
6回	1	5.6
12回	2	11.1
無回答	2	11.1
合計	18	100.0

表15-3 上腕囲の測定時期は何月ですか？(表15-2で「1回」と回答した施設のみ)

	施設数	(%)
2月	1	14.3
4月	2	28.6
5月	3	42.9
11月	1	14.3
無回答	0	0.0
合計	7	100.0